

図書館だより



2020年7月号 No.401

発行／静岡市立図書館

編集／清水興津図書館

興津は著名人が集まる別荘地だった！

清水区興津地区は東海道五十三次17番目の宿場町で、かつては豊かな砂浜のある景勝地でした。古くから東海道の宿場町として知られ、温暖な気候と東京から近いこともあって、明治から大正、昭和にかけて主として避暑避寒保養地として、皇族や政治家、文化人などが訪れたり、別荘を設けたりしました。

きっかけは明治22(1889)年に皇太子明宮殿下(後の大正天皇)が避暑に訪れたことで、明治29(1896)年に政治家・井上馨が別荘を建設しました。これが契機となり、多くの政財界の著名人が興津に別荘を置くことになりました。

最後の元老と呼ばれた西園寺公望^{さいおんじきんもち}は、大正5(1916)年から7年にかけて別荘旅館の水口屋に滞在し、大正8(1919)年には坐漁荘^{ざぎょそう}を建設し住居としました。坐漁荘が建設されると、西園寺に面会を求める者は水口屋に宿泊し順番を待っていました。これらの行動を「興津詣で」と呼んだそうです。

昭和32(1957)年には、昭和天皇皇后両陛下が静岡国体に臨席のため水口屋に宿泊しました。他にも、夏目漱石や井上靖、黒田清輝など、様々な分野の著名人が多く訪れています。

～水口屋について～

多くの著名人が宿泊した水口屋は、現在、一部をギャラリーとして水口屋や興津に関する資料等を紹介しており、大正天皇と昭和天皇が使用された食器類等を展示しています。

清水興津図書館から徒歩3分の場所にありますので、図書館にお越しの際は水口屋に立ち寄ってみてはいかがでしょうか。



水口屋ギャラリー

フェルケール博物館別館 水口屋ギャラリー

〒424-0205 静岡市清水区興津本町36 TEL054-369-6101

開館時間：10:00～16:00 休館日：月曜日・年末年始 入館料：無料

参考：「興津30年誌」(S213.2オ) 「興津ふるさと物語」(S213.2イ)

水口屋ギャラリーパンフレット

「興津」が題材になっている文学作品の紹介

しが なおや 志賀 直哉

小説家。明治16(1883)年2月2日生まれ。昭和46(1971)年10月21日没。享年88歳。白樺派を代表する作家で、短編小説の神様とも称される文豪です。代表作は「城の崎にて」「暗夜行路」などがあります。

志賀は中学を出た翌年の春、興津に遊びにきて、水口屋に宿泊し、下記の作品はその時のことを書いた作品です。旅館水口屋の様子や興津川のひなびた風景が目に見えてくるような作品であり、龍華寺から久能への散策描写も懐かしく書かれています。

「興津—川村弘の憶ひ出」(『志賀直哉全集第2巻』岩波書店(918.68シ)所収)
興津へつuitしたのは十時頃だつたと思ふ。水口屋といふ提灯を持った宿引きに連れられて其の家へ向つた。・・・

いとう さちお 伊藤 左千夫

歌人、小説家。元治元(1864)年8月18日生まれ。大正2(1913)年7月30日没。享年48歳。正岡子規に師事し、「馬酔木(あしび)」や「アララギ」を創刊し、小説「野菊の墓」の作者です。

下記の作品は明治34(1901)年9月4日に興津の水口屋に來泊し、翌日、三保の松原に遊んだ取材旅行の描写です。短編ながら当時の様子を生き生きと描き、非常に興に富んだ作品になっています。

「一夜旅」(『佐千夫全集第2巻』岩波書店(918.68イ)所収)
夜の九時すぎであつたらう、興津の停車場でおいた。予の外には、男とも女ともよくわからないが二人おいたものがある。

よさの あきこ 与謝野 晶子

歌人。明治11(1878)年12月7日生まれ。昭和17(1942)年5月29日没。享年63歳。静岡県をこよなく愛し、生涯において静岡に関わる1800首余りの旅行詠を残しています。代表作は、「みだれ髪」などがあります。

- ・龍臥して法の教を聞くほどに梅花の開く身となりけり
- ・寒さくら清見の寺に唯た一枝忍ぶむかしのある如く咲く

*ほかにも、興津に係する文学作品は多く残っています。

参考

『文学に描かれた清水』(S902.13フ)

『静岡県と作家たち』(S902シ)

『文学碑に見る清水』(S902.13フ) ほか



保健福祉センターで「6か月児育児相談」を
受けられなかった赤ちゃんと保護者の方へ

図書館で「ブックスタート」が受けられます



静岡市では、各保健福祉センターで実施される「6か月児育児相談」の会場へ図書館職員とボランティアスタッフが出向き、メッセージを添えて絵本を手渡す「ブックスタート」を行っています。

今年は3月から6月まで「6か月児育児相談」が中止となったため、「ブックスタート」を受けられなかった赤ちゃんと保護者の方は、お近くの市立図書館でおすすめ絵本が入ったブックスタートパックを受け取ることができます。

母子手帳を持参のうえ、お近くの図書館へお越しください。



南部図書館 ミニ博物館

『静岡の危険な生物』



ふじのくに地球環境史ミュージアムの博物館資料による出張展示です。
静岡の危険な生物について標本や解説パネルの展示を行います。

【展示場所】静岡市立南部図書館 1階子どもコーナー

【展示期間】令和2年7月14日（火）～8月25日（火）

予約サービスをご存じですか

せっかく図書館に来たのに借りたい資料が貸出中、残念(ಥ)・・・そうならないために、お出かけ前に図書館ウェブサイトでお調べください。貸出中だったり遠くの館にあったら、ぜひご予約を。図書館が皆様の受取希望館に用意してメールなどで連絡します。

予約件数は年々増加し、令和元年度は約 58 万件の予約を受け付けました。Web やスマホによる予約が増えており、特にスマホによる予約は 6 月ひと月だけで前年より約 5,600 件も増えています。図書館に来館しなくても利用できるサービス、ぜひご利用ください！

予約が多い本(200 件以上)

7 月 1 日現在

順位	書名	著者	請求記号	予約数
1	クスノキの番人	東野圭吾／著	913.6/ヒカソ	431
2	流浪の月	凧良ゆう／著	913.6/ナキラ	376
3	ぼくはヒーローで仆仆で、ちょっとブルー	ブレディみかこ／著	376.333/7	328
4	ライオンのおやつ	小川糸／著	913.6/カワ	320
5	カケラ	湊かなえ／著	913.6/ミナト	271
6	希望の糸	東野圭吾／著	913.6/ヒカソ	264
7	そして、バトンは渡された	瀬尾まいこ／著	913.6/セオ	213

今年は清水次郎長生誕 200 年!!

清水次郎長は、博奕と喧嘩に明け暮れた東海道一の大親分でしたが、後半生は世のため人のため社会貢献を行い、亡くなるまで多くの事業に関わり、清水の発展に寄与しました。

図書館には次郎長に関する本もあります。次郎長生誕200年の令和2年、一度、彼の人生をのぞいてみてはいかがでしょうか。

≪図書館HPアドレス≫

- ・パソコン <https://www.toshokan.city.shizuoka.jp/>
- ・携帯 <https://www2.toshokan.city.shizuoka.jp/winj/mobileopac/top.do>

静岡市立図書館の情報はこちらから



Web サイト



Twitter

静岡市立中央図書館 〒420-0884 静岡市葵区大岩本町 29-1 (054-247-6711)
御幸町図書館(054-251-1868) 藁科図書館(054-278-4100) 西奈図書館(054-265-2556)
北部図書館(054-653-1817) 南部図書館(054-288-2151) 長田図書館(054-259-7878)
清水中央図書館(054-354-1331) 清水興津図書館(054-360-4311)
蒲原図書館(054-388-3456) 麻機分館(054-248-5035) 美和分館(054-296-6501)